

令和3年度青森県男女共同参画センター及び青森県子ども家庭支援センター（アピオあおもり）の管理運営状況

県所管課	環境生活部青少年・男女共同参画課 健康福祉部こどもみらい課
指定管理者	未来へつなぐネットあおもりグループ (代表者である構成員) 青森県青森市新町二丁目5番1号 株式会社角弘 代表取締役 船越 秀彦
指定期間	平成3年4月1日～令和8年3月31日

1 管理業務の実施状況

(1) 青森県男女共同参画センター

業務区分	概要
総合相談事業	女性が直面している問題に対し、電話及び面接相談により、解決に向けた支援を行った。また、相談事業の一環としてDV相談・支援者向け講座等を実施した。
学習・人材育成事業	ウィメンズアカデミーについて、地域女性リーダーコースは会場参加型で、働く女性リーダーコースはオンデマンド配信により、2コースを開催した。
普及啓発事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、アピオあおもり秋まつりは会場参加型とオンライン型のハイブリッドで開催した。
活動支援事業	県内6地域に構築した男女共同参画ネットワーク組織において、地域の特色を活かした男女共同参画の学習会等の開催の支援等を3地域で行った。
調査研究事業	女性人財育成、ワーク・ライフ・バランス推進などに関するセミナーのカリキュラム・講師候補について、県内企業等から情報を収集し、リストを作成した。
情報提供事業	男女共同参画を推進するための情報を収集、蓄積、提供する情報ライブラリーについて、購入図書を選定やテーマ展示、出前貸出等の工夫を行った。 男女共同参画の視点に立った情報誌を年2回発行した。
防災対策事業	地域における男女共同参画の視点を取り入れた防災体制づくりに向け、市町村、自治会等の研修会等へ講師を派遣した。

(2) 青森県子ども家庭支援センター

業務区分	概要
情報提供事業	ホームページの運営等により、子どもと家庭に関する情報提供を行った。また、子育て支援に関する情報啓発情報誌を発行したほか、あおもり子育て応援わくわく店の登録、パスポートの発行及び情報発信等事務を行った。
活動支援事業	県内の地域子育て支援拠点関係者を対象に、子育て支援の連携強化を目的とした研修や実技向上のための講習会を開催した。
総合相談事業	結婚、妊娠、出産、子育ての悩みや子どもの問題など、子どもと家庭に関する様々な相談を電話及び面接で受け付け、支援を行った。
学習体験事業	児童図書室では、乳幼児から小学校低学年を対象とした児童図書やビデオ等の貸出を行った。また、親子のスキンシップを目的とした体験活動を実施したほか、季節の行事に合わせた館内展示やイベントを実施した。
普及・啓発事業	社会全体で子育てすることの重要性を学ぶ機会を設け、子育て関連団体と協働し、講演会やワークショップ等を実施した。
調査・研究事業	のびのびあおもり子育てプラン推進に資するべく、子育てサークル等の活動調査を実施し、報告書を作成した。また、業務ニーズ調査を実施し、今後の子育て支援施策の参考とするため報告書を作成した。

2 管理施設の利用状況

(1) 青森県男女共同参画センター及び青森県子ども家庭支援センター

利用指標	年 度	計 画	実 績	計画対比	前年度対比
貸館利用者数	R 1	85,000 人	59,019 人	69.4%	78.9%
	R 2	85,000 人	29,971 人	35.3%	50.8%
	R 3	85,000 人	29,107 人	34.2%	97.1%
施設使用件数	R 1	3,000 件	2,479 件	82.6%	85.2%
	R 2	3,000 件	1,843 件	61.4%	74.3%
	R 3	3,000 件	1,818 件	60.6%	98.6%
施設利用の満足度	R 1	98.0%	97.8%	99.8%	99.8%
	R 2	98.0%	98.5%	100.5%	100.7%
	R 3	98.0%	98.5%	100.5%	100.0%

※「施設利用の満足度」の実績は、R1とR2は「普通」「やや満足」「満足」を合計した割合、R3は「良い」「とても良い」を合計した割合。

(2) 青森県男女共同参画センター

利用指標	年 度	計 画	実 績	計画対比	前年度対比
あおもりウィメンズアカデミー受講生数	R 1	地域女性リーダーコース 募集定員の100% (30人)	133.3%	133.3%	118.0%
		働く女性リーダーコース 募集定員の100% (40人)	170.0%	170.0%	102.0%
	R 2	地域女性リーダーコース 募集定員の100% (30人)	—	—	—
		働く女性リーダーコース 募集定員の100% (30人)	240.0%	240.0%	141.2%
	R 3	地域女性リーダーコース 募集定員の100% (10人)	70.0%	70.0%	—
		働く女性リーダーコース 募集定員の100% (50人)	122.0%	122.0%	50.8%
地域ネットワーク活動支援事業企画運営	R 1	県内6箇所で開催	県内6箇所で開催	100.0%	—
	R 2	県内6箇所で開催	県内3箇所で開催	50.0%	50.0%
	R 3	県内6箇所で開催	県内3箇所で開催	50.0%	100.0%
情報ライブラリー貸出冊数	R 1	11,000 冊	10,933 冊	99.4%	109.0%
	R 2	11,000 冊	10,732 冊	97.6%	98.2%
	R 3	11,000 冊	9,710 冊	88.3%	90.5%
情報誌読者アンケート満足度	R 1	5段階評価の4.1	4.1	100.0%	100.0%
	R 2	5段階評価の4.1	4.1	100.0%	100.0%
	R 3	5段階評価の4.1	4.3	104.9%	104.9%

(3) 青森県子ども家庭支援センター

利用指標	年 度	計 画	実 績	計画対比	前年度対比
情報誌活用度	R 1	5段階評価の4.1	4.2	102.4%	102.4%
	R 2	5段階評価の4.1	4.4	107.3%	104.8%
	R 3	5段階評価の4.1	4.6	112.2%	104.5%

手作りおもちゃ 講習会参加者	R 1	170 人	144 人	84.7%	80.9%
	R 2	95 人	63 人	66.3%	43.8%
	R 3	60 人	52 人	86.7%	82.5%
親子・次世代育成 すくすくスキン シップ参加者	R 1	親子向け 募集定員の100% (親子50組) ※100人想定 指導者向け 募集定員の100% (60人)	親子向け 47組 ※147人 指導者向け 58人	親子向け 94.0% 指導者向け 96.7%	親子向け 216.2% ※人数対比 指導者向け 89.2%
	R 2	親子向け 募集定員の100% (40人) 指導者向け 募集定員の100% (40人)	親子向け 46人 指導者向け 16人	親子向け 115.0% 指導者向け 40.0%	親子向け 31.3% 指導者向け 27.6%
	R 3	親子向け 募集定員の100% (40人) 指導者向け 募集定員の100% (100人)	親子向け 30人 指導者向け 89人	親子向け 75.0% 指導者向け 89.0%	親子向け 65.2% 指導者向け 556.3%
子育て広場参加 者	R 1	募集定員の100% (100人)	111人	111.0%	52.4%
	R 2	募集定員の100% (130人)	118人	90.8%	106.3%
	R 3	募集定員の100% (60人)	63人	105.0%	53.4%

【増減理由】

・貸館利用者数、施設利用件数

県内での新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、拡大防止の観点からの休館を余儀なくされたほか、申込者からのキャンセルが多数見られたことから、貸館利用者数及び施設利用件数ともに目標に達しなかった。

・あおもりウィメンズアカデミー受講生数

地域女性リーダーコースについては、県内で新型コロナウイルス感染症が感染拡大していた中で、全5回会場参加型であったことから、受講生数は少数に留まったものと思われる。

・地域ネットワーク活動支援事業

県内での新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、県内6地域のうち3地域において学習会等を実施することができなかった。

・情報ライブラリー貸出冊数

県内での新型コロナウイルス感染症の感染拡大によるアピオあおもりの休館に伴い、情報ライブラリーの利用も休止したため、目標に達しなかった。

• **親子・次世代育成すくすくスキンシップ参加者**

「子育て支援社会」の形成を推進し、子育てと健やかな子どもの育ちを支援することを目的に、様々な体験を通して親子のスキンシップを図るとともに、専門知識を有する外部講師等による子育て支援関係者の資質向上を図る研修会を実施した。支援関係者向けの研修会の一部をオンライン開催としたため、参加者が増加した。当該事業は、例年、県内2箇所で実施しているがオンライン開催とすることで地域に限定されず参加することができ、より多くの支援関係者の資質向上につながることを期待され、今後の研修会のあり方について、前向きに検討したい。

• **子育て広場参加者数**

親子で楽しむ体験型イベントを予定し、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、定員数を減らした。また新型コロナウイルス感染症拡大により、急遽オンライン開催とした。

緊急的な対応であり、オンライン開催に当たって、参加者の追加募集は行っておらず、参加者数は計画人数を超えたものの昨年度からは減少した。

3 評価結果

評価項目	指定管理者 自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組が適切に行われているか。	3	3	全職員をローテーション勤務とし、業務水準書等に掲げる業務を適正に実施している。職員マナーについては日常の注意喚起のほか、利用者の意見・苦情把握に努め、サービスの維持・向上に向けた取組が適切に行われている。
②利用促進に向けた取組が適切に行われているか。	3	4	館内における催事案内表示や、ホームページにおいて施設の予約状況を情報提供しているほか、携帯サイトやスタッフブログにより、利用情報提供の利便性向上に向けて取り組んでいる。
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	3	4	建物、設備の維持管理や清掃業務を適正に実施するとともに、必要に応じて修繕等の措置をとり利用者の利便性と安全性が確保されている。また、備品管理については日常点検・確認を実施している。
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	3	3	基本協定書の規定を遵守すべく、随時職員の教育の徹底を行っている。また、防災マニュアルを改訂し、来館者への注意事項を示した簡易マニュアルを整備しているほか、緊急連絡系統図の周知徹底を図っている。なお、消防訓練も実施している。
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	3	3	管理業務及び両センターの事業は事業計画に基づき実施され、指定管理料が適正に執行されている。また、管理標準を定め、光熱水費等の無駄の削減、経費節減に努めており、必要な修繕の早期対応に努めている。
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか。	3	3	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部達成できなかった項目があるが、指定管理者の責めによることが出来ない不可抗力によるものであり、成果目標達成のための努力は適切に行われている。
⑦その他法令等を遵守した管理運営が行われているか。	3	3	労働法令を遵守している。また、個人情報保護の重要性を踏まえ、職員への周知を徹底しており、苦情等の問題が発生していない。
総合評価	3	3	おおむね業務水準書等の内容が満たされている。

○評価基準

- 5 (秀) : 業務水準書等の内容を上回り、特筆すべき実績をあげている。
- 4 (優) : 業務水準書等の内容を上回り、優れた実績をあげている。
- 3 (良) : 業務水準書等の内容が満たされている。
- 2 (可) : 業務水準書等の内容が満たされず、一部改善を要する。
- 1 (不可) : 業務水準書等の内容が満たされず、重大な改善を要する。